当院で転移を有する膀胱小細胞癌と診断された患者さんへ

臨床研究における診療情報の利用について

当院では以下の研究を行います。過去の診療で得られた情報を利用します。
研究のための新たな検査や治療は行いません。お問い合わせや利用を拒否したい場合は、
下記窓口へご連絡ください。協力を拒否しても診療上の不利益はありません。
当院の診療情報を研究用の番号で管理し、お名前等を除いて香川大学へ提供します。
お名前等との対応表は当院で保管し、外部へ提供しません。
情報の利用または提供の開始予定日：研究実施許可日

研究機関名：JA北海道厚生連　帯広厚生病院
　　研究責任者　　泌尿器科　主任医長　山田　修平

【研究課題名】
転移を有する膀胱小細胞癌の治療実態に関する多機関共同後ろ向き観察研究

【研究の目的】
膀胱小細胞癌はまれながんで、転移がある場合にどのような治療が最適かは十分に明らかではありません。本研究では、国内の複数施設から過去の診療情報を集め、薬物療法の種類、提供された治療の回数・期間、治療効果とその後の経過を調べます。また、免疫チェックポイント阻害剤を使用した方の割合や治療効果、予後との関連、副作用も調べ、今後のよりよい治療の検討に役立てることを目的とします。

【研究の方法】
●対象となる患者さん
2015年1月1日～2025年12月31日に当院で病理検査により膀胱小細胞癌が確認され、画像で転移が確認された18歳以上の方（支持療法のみの方も含む）。

●使用する試料・情報の項目
基本情報：年齢（生年月日）、性別。診断情報：診断日、診断に用いた検体、がんの進行度、転移の診断日・部位、原発巣の摘除・周術期治療。検査情報：全身状態、血液・腫瘍マーカー検査、栄養・炎症の指標、画像検査。一次・二次治療：治療の有無、薬剤・開始日、投与回数、減量、最良効果と判定日、終了日、病勢進行日、中止理由。放射線治療：実施・予防的全脳照射の有無、開始日・部位。安全性：血液毒性、臓器障害、消化器症状等、免疫関連の副作用の有無・内容・重症度、ステロイド使用。経過：最終確認日、生存・癌死・他因死等の転帰。

主幹：香川大学医学部泌尿器科学 加藤琢磨（087-891-2202）。共同機関は別紙参照。
【研究実施期間】
倫理審査委員会承認日～2028年3月31日
【 個人情報の取り扱い】
研究用の番号を付け、お名前・住所・カルテ番号等を除いて診療情報を提供します。
研究成果は学会や論文で発表しますが、患者さんを特定できる情報は公表しません。
研究計画や資料の閲覧をご希望の場合は、下記の相談窓口へお問い合わせください。
診療情報の利用・提供を希望されない方は下記窓口へご連絡ください。当院ホームページの「臨床研究登録拒否通知書」は、当院3階事務室内 医事課 倫理審査委員会事務局へご提出いただけます。

＜問い合わせ・連絡先＞
〒080-0024
北海道帯広市西14条南10丁目1番地
JA北海道厚生連　帯広厚生病院
　　研究責任者　　泌尿器科　主任医長　山田　修平
電話：0155-65-0101（平日：8時 30 分～17 時 00 分）

＜臨床研究登録拒否通知書　送付先＞
〒080-0024
北海道帯広市西14条南10丁目1番地
JA北海道厚生連 帯広厚生病院
3階事務室内 医事課　倫理審査委員会　事務局